

令和 3年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	中村裕也
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3412
事務事業名	4163 遊休農地解消対策事業											
所 属	150100 産業振興部・農林課											
施 策	15012100 農業の活性化											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	060103 農林水産業費・農業費・農業振興費										
	事業	050000 遊休農地解消対策事業										
事業目的						事業概要・効果						
農業者の高齢化とうによるび減少や、鳥獣害等により増加している遊休農地の解消及び拡大防止を図る。						補助金を交付し、遊休農地の解消、拡大防止を図る。 中山間地域において集落協定を結び、農地の維持を図る。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
遊休農地解消面積 26,360㎡ 中山間集落協定面積 247,337㎡	遊休農地解消面積 50,000㎡ 中山間集落協定面積 247,337㎡
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	支援制度を活用した耕作放棄地解消面積				
算式	57.5ha（現状値）+年5ha×5年【累計】				単位 ha
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標	62.5	67.5	72.5	77.5
	実績				82.5
指標選定の理由	農業従事者の高齢化、担い手の不足、有害鳥獣による農作物被害等による耕作放棄地の拡大を防止する。				
最終年度目標の根拠	2020年度の解消面積57.5を基準とし、2021年度以降毎年約5haの解消を目指す。				
指標名					
算式					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		7,346	8,405
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	4,084	3,899
	地方債	0	0
	その他	1,500	0
一般財源		1,762	4,506
人員数(人)	正規職員	0.2	0.3
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,393.6	2,090.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,393.6	2,090.4
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		8,739.6	10,495.4

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	11	消耗品9、燃料費2
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	7,330	負担金664 補助金1,539 交付金5,127
その他	5	通信運搬費(郵便料)5

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	11	消耗品費9、燃料費2
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	8,389	負担金200 補助金3,000 交付金5,189
その他	5	通信運搬費（郵便料）5

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	遊休農地の解消は農業振興を図るうえで不可欠	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	補助金の後押しにより事業に取り組む意欲が出ている	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	財源確保の余地は少ない	

振り返り（決算年度の取組み課題）

2019年度から要綱を改正し、果樹と果樹以外の補助金上限額に差を設けた。
 遊休農地の解消全体面積は、18-19年度比95.2%とやや減少したが、19-20年度比は130.4%となっている。
 遊休農地の解消は農業振興を図るうえで不可欠な事業であることから、今後も状況を注視していく。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

市単独ではなく農業委員会と協働で取り組んだほうが有効性がある。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

遊休農地の解消と耕作放棄地の拡大防止に有効な事業である。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--